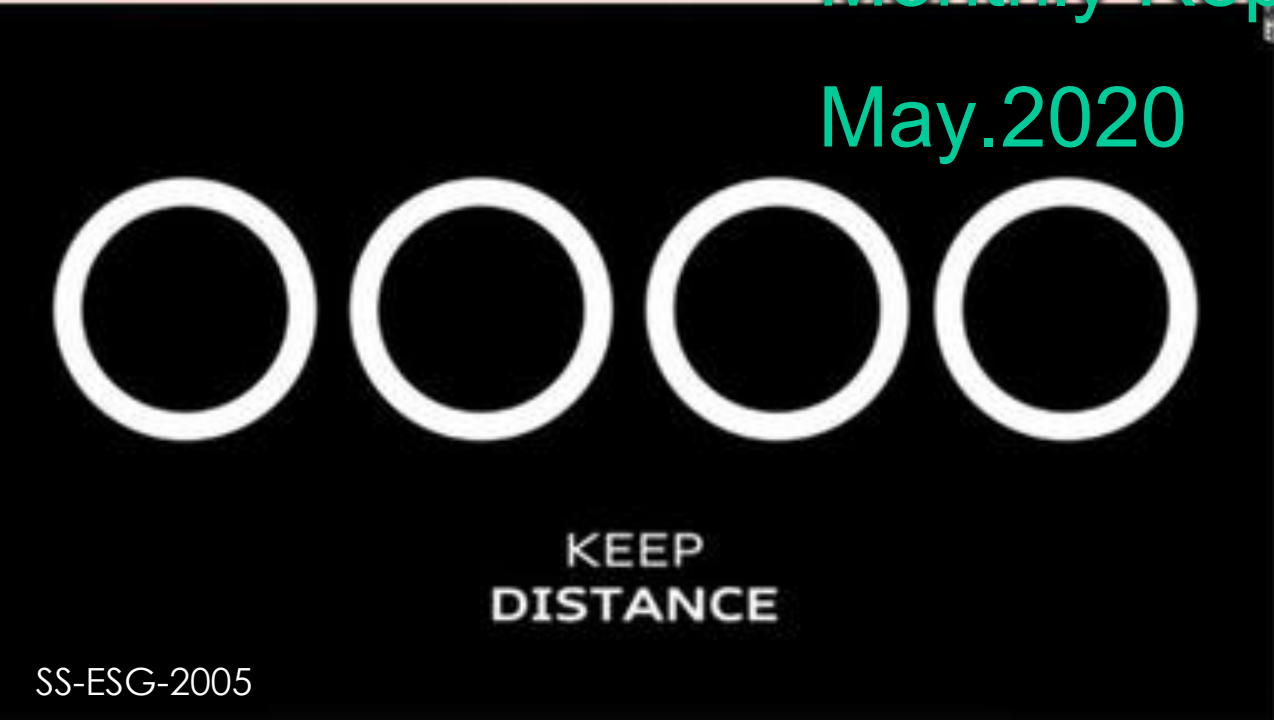




SANSHIN GROUP

Monthly Report on the ESG

May.2020



KEEP
DISTANCE

**IF YOU EVER DREAMED OF PLAYING
FOR MILLIONS AROUND THE WORLD,**

NOW IS YOUR CHANCE.

Play inside, play for the world.



Thanks for keeping your social distance

INDEX

1. TOP MESSAGE
2. グループ社員による今月のつぶやき
3. ESG Report（品質）
4. ESG Report（環境）
5. ESG Report（地域貢献とワーク・ライフ・バランス）
6. サンシングループの経営理念とCSR
7. 経営戦略体系と管理会計のかかわり
8. サンシングループの社会的責任
9. サンシングループの企業行動基準
10. サンシングループのマネジメント・コントロール・システムズ
11. 未来形から問題を解決するソウレンハウ

TOP MESSAGE

2020年5月25日に新型コロナウイルス「COVID-19」に関する緊急事態宣言が全ての都道府県で解除された。メディア等でも取り上げられているように、これまでのような生活様式には間違いなく戻らない。特に今回の事態で大きく変わる一つとして「働き方」があるが、アフターコロナでは例えば、これまで週5日出社していたとして、週2日在宅勤務となれば週170分の移動時間が浮くことになるため、この時間をどのように使うことができるかを今一度考えて欲しい。今後のこの変化に対応できなかった企業や人は淘汰されていくだろう。

サンシン電気株式会社 取締役
河原 崇

グループ社員による今月のつぶやき

SANSHINEast

日本では5/25の首都圏を最後に全国で緊急事態宣言が解除されました。しかし、コロナウイルスがなくなったわけではなく、依然として脅威であることに変わりはありません。今後、ウイルスといかに共存していくか、上手な付き合い方を学んでいかねばなりません。(Y.Y.)

SANSHIN Hong Kong

2020年の前半、現代人は見知らぬ敵と戦って、命さえあれば祈りながら、後半を向かっています。因果応報と言ったら、何も根拠なくけど、地球&大自然を傷付けたから、人類社会に色々異変がおきてると、何となく感じます。破壊は一瞬、修復するのに一生をかけるかも、取り返しのつかないところまで酷かったら、リセットされるでしょ。今回の難関を乗り越えたら、人類は環境保護、改善と修復を全世界の力を合わせて、今まで以上の団結力と行動力でやるべき、やらざるを得ない、だって優しくしてあげたら、優しくされるでしょう？(J.B.)

CSI

セブの季節は雨期と乾期があります。雨期は6月～10月・乾期は11月～5月になります。現在5月ですが夜になると良く雨が降ります。日中に降ってほしいと願っています。(K.S.)

SANSHINWest

新型コロナのアウトブレイクにより温室効果ガス排出量の減少がみられるというが経済が回復すれば二酸化炭素の排出量はすぐに増加する。問題の本質は人々が経済活動できる環境下で議論し取り組むべきであり、現在の最優先事項は世界的な健康ケアだと実感している。(N.K.)

SHINKOWA

ゴールデンウィークを終えて、新型コロナウイルス感染者数が減ってきましたが、気を抜かず感染予防を行って行きましょう。コンビニエンスストアのビニール袋が7月より有料になるそうです、お茶や昼食を購入した時に非常に便利でしたがこれも仕方がないですね！丈夫で小さな紙袋をマイバックとして準備します。(M.N.)

SC2

全国でコロナ自粛解除。しかし解除前から人心の緩みがあちこちで見られた。結果、北九州市、そして小金井市でクラスターが発生。積み上げたものも一瞬で崩れることがある。環境問題も仕事も全て、本質は同じなのだ。(M.I.)

ESG Report (品質)

TOPICS

在宅勤務の継続、メリット・デメリットは？

緊急事態宣言が解除されましたが、在宅勤務を広く活用し続ける場合のメリット・デメリットについて考えてみます。

■在宅勤務のメリット

1. 業務効率や生産性が高まる

オフィス勤務の場合には、予定外の打ち合わせや会議、顧客からの連絡などで業務が中断されてしまうことが多々あります。在宅勤務ではこうした中断を減らせ、業務を遂行する集中力を高く維持でき、業務効率や生産性の向上になります。

2. 通勤や移動におけるコスト削減

在宅勤務では交通費をかけて行く必要がないので、通勤や移動にかかるコストを削減できます。また、通勤で肉体的な疲労や精神的なストレスを感じている人もいます。肉体的・精神的な負荷を軽減でき、結果的に生産性向上につながります。

3. 人材を確保できる

在宅勤務制度は労働時間短縮制度などと組み合わせて利用できます。育児期間中、介護が必要な家族がいる社員が利用することで、より多くの時間を業務や家族の看病に充てられます。その為、退職や転職をすることなく働き続けることができるようになります。

■在宅勤務のデメリット

1. 勤務時間とプライベートの線引き

在宅勤務は仕事とプライベートの明確な線引きが曖昧になりがちです。場合によっては、逆に長時間労働になりかねません。

2. 業務上のコミュニケーション不足が生じる

在宅勤務では携帯電話などで会社と連絡は取れますが、直接顔を合わせなくなりコミュニケーション不足が生じる可能性があります。

3. 勤怠管理が複雑化する

在宅勤務では勤務時間とプライベートの線引が曖昧になりがちです。それだけ勤怠管理も曖昧になってしまいます。

在宅勤務では、業務成果の目標や評価方法を十分に話しておくことが大切です。会社との情報共有もまめにしましょう。

サンシングループの品質方針

サンシングループは、品質マネジメント・システムの効率的な運用により、お客様の満足にかなう企業活動を行い、社会へ貢献していくために、以下の品質方針を策定しています。

1. 企業活動において、いかなる場合も品質マネジメント・システムを遵守し、お客様に信頼される品質の提供に努めて参ります。
2. 企業活動に係る法規制およびその他の要求事項に関して、コンプライアンスの遵守を通して品質の向上に努めて参ります。
3. 品質マネジメント・システムは、定期的な内部監査及びマネジメント・レビューを行い、実態業務に沿った具体的な是正と改善を図って参ります。

品質への取り組み

要因分析

<品質管理の基本である5M>
Material (材料)、Machine (製造機械)、Method (製造方法)、
Man (担当者)、Measurement (計測)

段取り

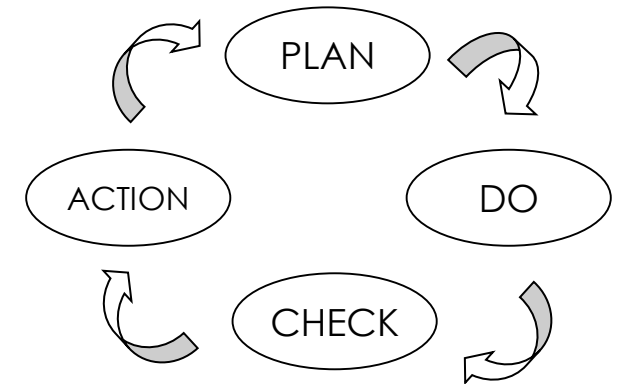
<仕事の段取り5W3H>
5W : When (いつ)、Where (どこで)、Who (だれが)、What (なにを)、Why (なぜ)
3H : How (どのように)、How much (いくら)、How many (どのくらい)

行動

<製造の基本である3現主義>
現場、現実、現物

管理

<品質管理の基本はロット管理と変更管理>



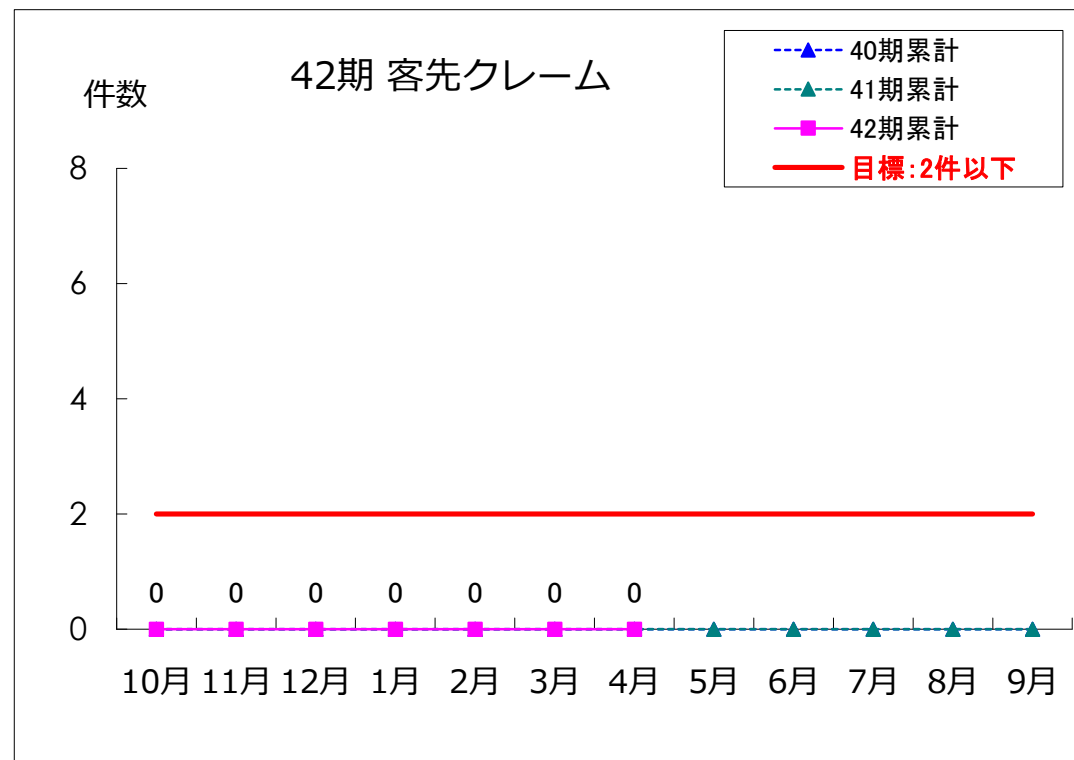
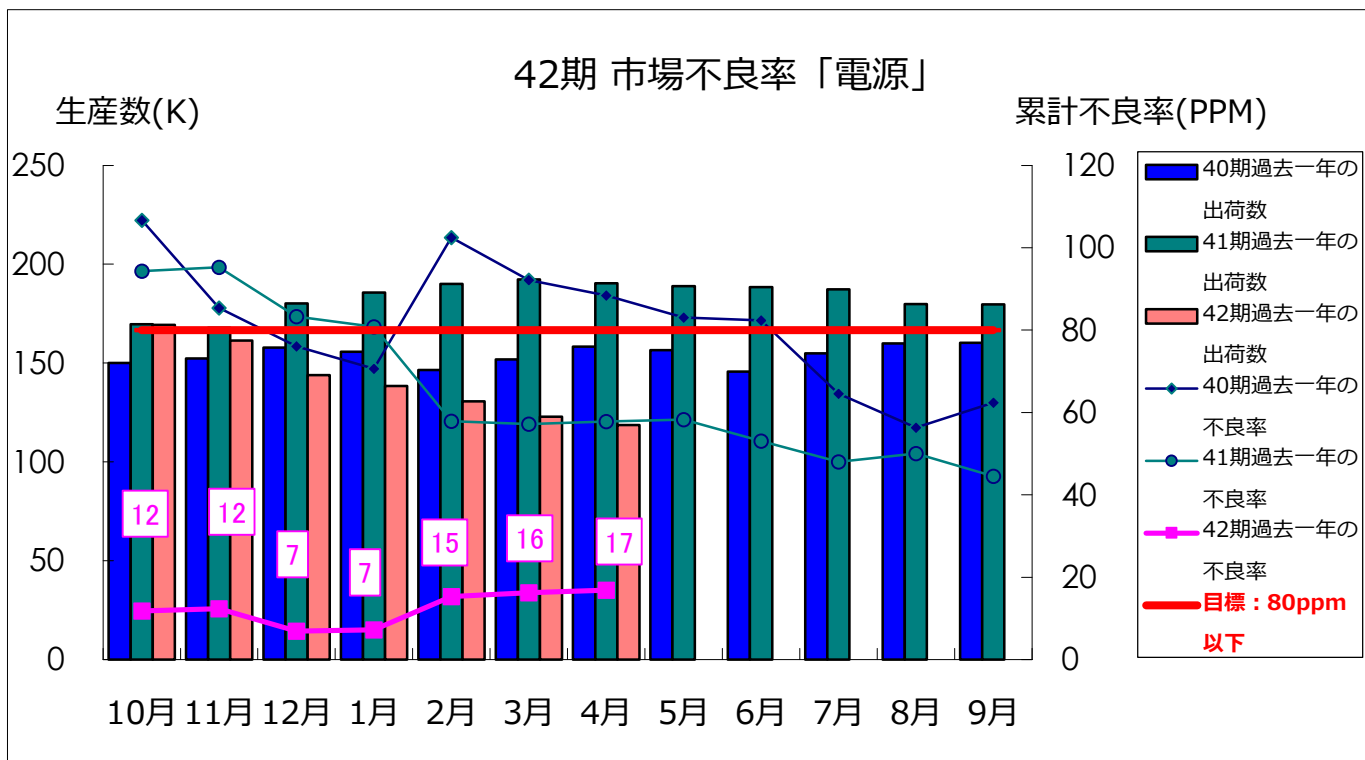
- EMS先との継続的な品質会議の実施。(1回/月)
- 定期監査の実施。(1回/1年)

* 最も大事なのが、継続させるための「**個人の意志**」である。

品質状況

納入不良率 目標 80ppm

42期の累計不良率は、17ppm です。
 市場不良累計(過去1年分) : 2件 客先クレーム : 0件



ESG Report (環境)

今月のTOPICS

□ 「緊急事態宣言」解除後の「新しい生活様式」への各企業の改革

2020年5月、厚生労働省から新型コロナウイルスを想定した「新しい生活様式」の実践例が発表されました。企業も、感染拡大を防ぎながら事業を行う必要があり、オンライン化の促進など、その事業活動を変化させる必要があります。

2か月近くに及んだ緊急事態宣言が解除されました。テレワークに取り組みざるを得なくなったことで、これからの仕事の仕方について考えた方も多いのではないのでしょうか。宣言が解除されたからといって、仕事の仕方を宣言発出前に100%戻そうという企業は少ないと思います。ネットワーク上で仕事をすることで、移動と場所に費やしている莫大なコストの必要性に疑問を感じるようになったからです。

日本では一人当たり3坪程度のオフィスを利用していると言われます。都心部であれば年間100万円程度のコストがかかります。これに通勤、打ち合わせや出張のための移動に要するコストを加えると、固定したオフィスとフェイス・トゥ・フェイスの会議等を前提とした仕事の仕方のために、一人当たり年間百数十万円のコストを負担していることとなります。社員が千人の企業なら十数億円に及びます。ITを駆使することで、これを半分に減らせれば、残りを競争力強化のために投じることができます。ここには固定された場所に集まるための時間的なコスト、あるいは感染や災害に見舞われた際の耐力の違いなどは含まれていませんので、実際にはもっと大きなコストの違いがあるはずで、これだけの負担の違いがあると、ITを使って仕事の仕方を変えていく企業と旧来の仕事の仕方に戻る企業が競争した時の結果は見えています。企業としてITを使った仕事の改革の是非を問う段階はとうに過ぎていると言えます。

自粛や人出が減ったことで、緊急事態宣言の解除後も大変な状況にある企業がたくさんあります。その中で、日本が成長路線を取り戻すためには、在宅勤務を中心とした2か月間の経験は将来に向けた投資であったのです。

「新しい生活様式」の実践例

(1) 一人ひとりの基本的感染対策

感染防止の3つの基本：①身体的距離の確保、②マスクの着用、③手洗い

- 人との間隔は、出来るだけ2m（最低1m）をける。
- 避けにくいなら室内より屋外を選ぶ。
- 会話をする際は、可能な限り真正面を避ける。
- 外出時、屋内にいるときや会話をするときは、症状がなくてもマスクを着用。
- 家に帰ったらまず手や顔を洗う。できるだけすぐに着替える。シャワーを浴びる。
- 手洗いは30秒程度かけて水と石けん立で丁寧に洗う（手洗い薬の使用も可）

※ 高齢者や持病のあるような重症化リスクの高い人と会う際には、体調管理をより厳重にする。

移動に関する感染対策

- 感染が流行している地域からの移動、感染が流行している地域への移動は控える。
- 乗車や飛行はひかえめに。出張はやむを得ない場合に。
- 乗車したときのため、座とどこで会ったかをメモにする。
- 地域の感染状況に注意する。

(2) 日常生活を営む上での基本的な生活様式

- まめに手洗い・手指消毒 咳エチケットの徹底 こまめに換気
- 身体的距離の確保 「3密」の回避（密集、密接、密閉）
- 毎朝体温測定、健康チェック。発熱又は風邪の症状がある場合はムリせず自宅療養



(3) 日常生活の各場面別の生活様式

- | | |
|---|---|
| 買い物 <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 通販も利用 <input type="checkbox"/> 1人または少数で短い時間に <input type="checkbox"/> 電子決済の利用 <input type="checkbox"/> 軒先をたたく必要がなくなる <input type="checkbox"/> サンプルなど食品への接触は控える <input type="checkbox"/> レジに並ぶときは、前後にスペース | 公共交通機関の利用 <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 乗車は控える <input type="checkbox"/> 混んでいる時間帯は避けて <input type="checkbox"/> 徒歩や自転車利用も併用する |
| 飲食 <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 持ち帰りや出前、デリバリーも <input type="checkbox"/> 密閉空間で長時間過ごす <input type="checkbox"/> 大皿は避けて、料理は個々に <input type="checkbox"/> 対面ではなく横並びで食べる <input type="checkbox"/> 料理に集中、おしゃべりは控える <input type="checkbox"/> お酒、グラスやお煙草の回し飲みは避けて | 冠婚葬祭などの親族行事 <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 多人数での会食は避けて <input type="checkbox"/> 発熱や風邪の症状がある場合は参加しない |

(4) 働き方の新しいスタイル

- テレワークやローテーション勤務 時差通勤でゆったりと オフィスはひろびろと
- 会議はオンライン 名刺交換はオンライン 対面での打ち合わせは換気とマスク

サンシングループの環境方針

サンシングループは、環境の保全と向上に関する企業活動を重要なCSRと認識し、継続企業の責務として、将来に渡り環境の保全と向上に貢献していくために、以下の環境方針を策定しています。

1. 企業活動において、いかなる場合も環境マネジメント・マニュアルを遵守し、お客様に信頼される継続企業として、環境保全と向上に努めて参ります。
2. 「紙・ごみ・電気」の低減を定量的に徹底管理し、地球環境の汚染予防をはかって参ります。
3. 独自性のあるイノベーション活動を通して、地球環境の汚染防止をはかって参ります。
4. 「安全・安心・快適」な職場環境を追求し、すべての社員が健康的に働くことのできる環境を実現して参ります。
5. 企業活動に係る法規制およびその他の要求事項に関して、コンプライアンスの遵守を通して環境の保全と向上に努めて参ります。
6. 環境マネジメント・システムは、定期的な内部監査およびマネジメント・レビューを行い、実態業務に沿った具体的な是正と改善をはかって参ります。



活動報告

- ①環境への取り組み
- ②廃棄物排出量
- ③コピー用紙使用量
- ④電力使用量
- ⑤切手・ペットボトルキャップ回収

環境への取り組み

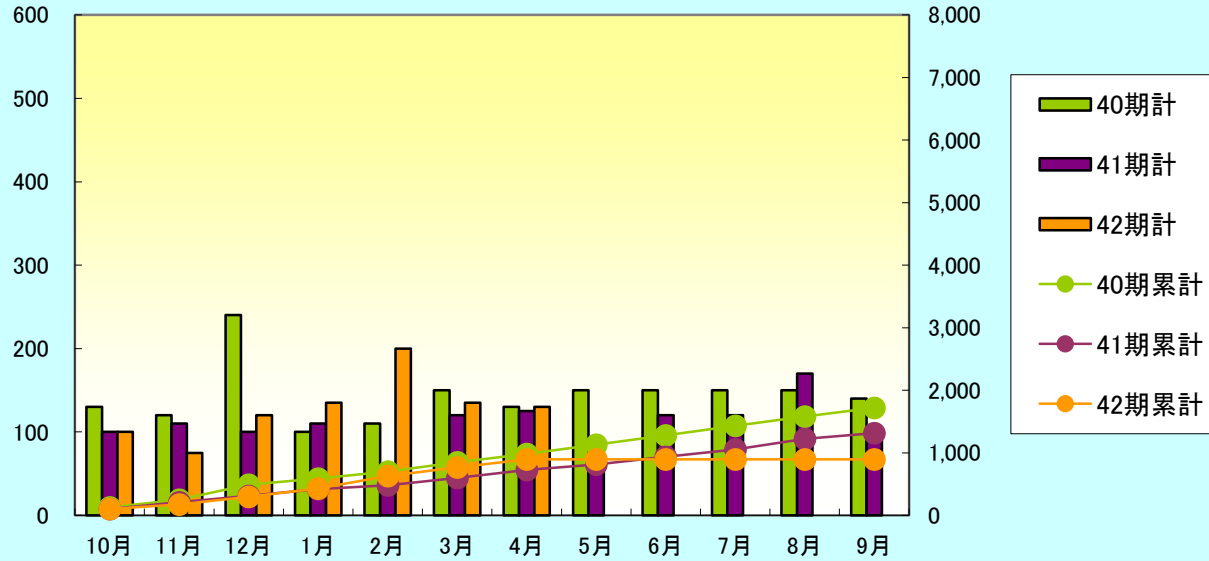
- ▶ 災害地域への義援金や植樹活動支援金の募金活動
- ▶ ソーラーシステム導入による再生エネルギーの活用（SSD headquarters & SHINTO）
- ▶ 年に一度、植林を実施（CSI）
- ▶ 省エネルギー機器の開発・販売を通じた環境への貢献
- ▶ ROHS対応部品の使用促進による環境負荷低減
- ▶ ペットボトルキャップ・使用済み切手の回収
- ▶ ウェアラブルカメラを導入し、5S活動を徹底（CSI）



一般廃棄物(SSD/本社)

月次/棒グラフ(kg)

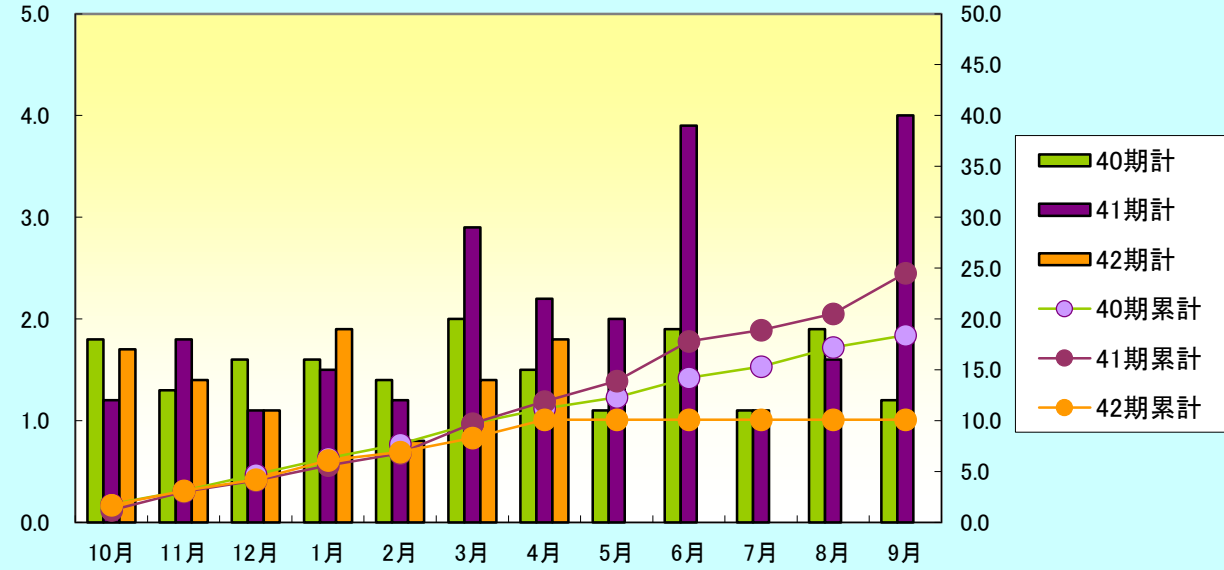
累計/折れ線(kg)



一般産業廃棄物(SSD/本社)

月次/棒グラフ(m³)

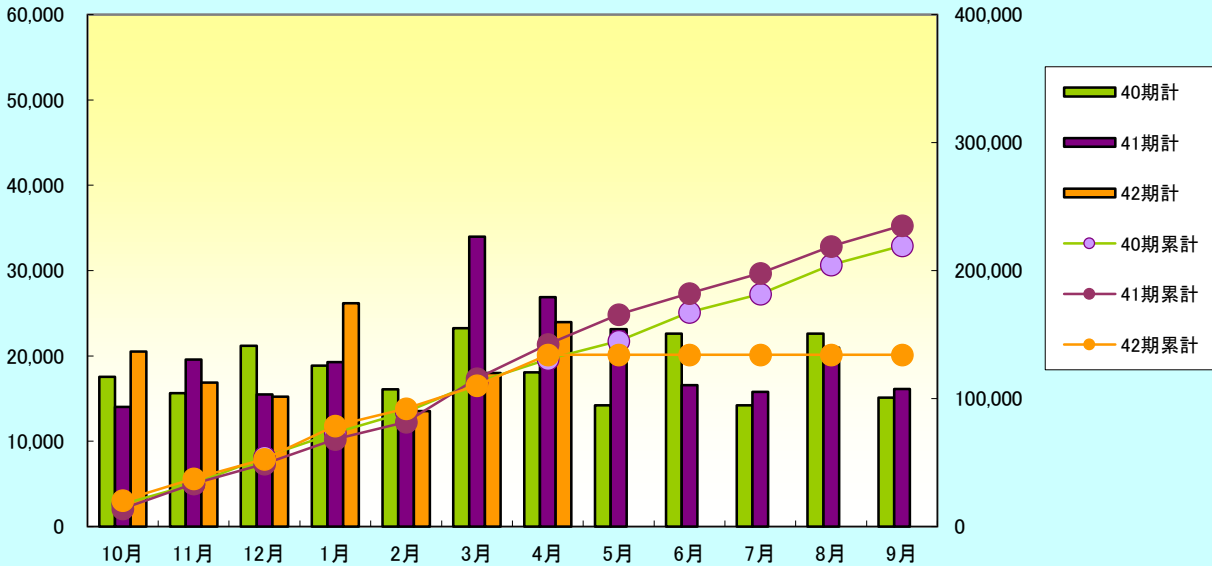
累計/折れ線(m³)



廃棄物処理金額累計

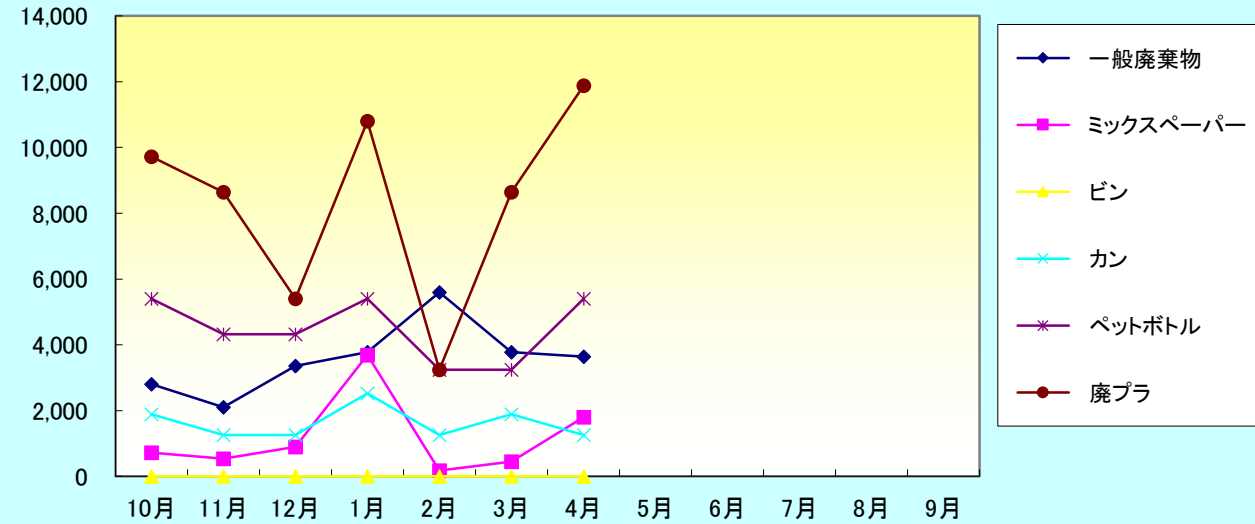
月次/棒グラフ(円)

累計/折れ線(円)



41期 廃棄物処理金額

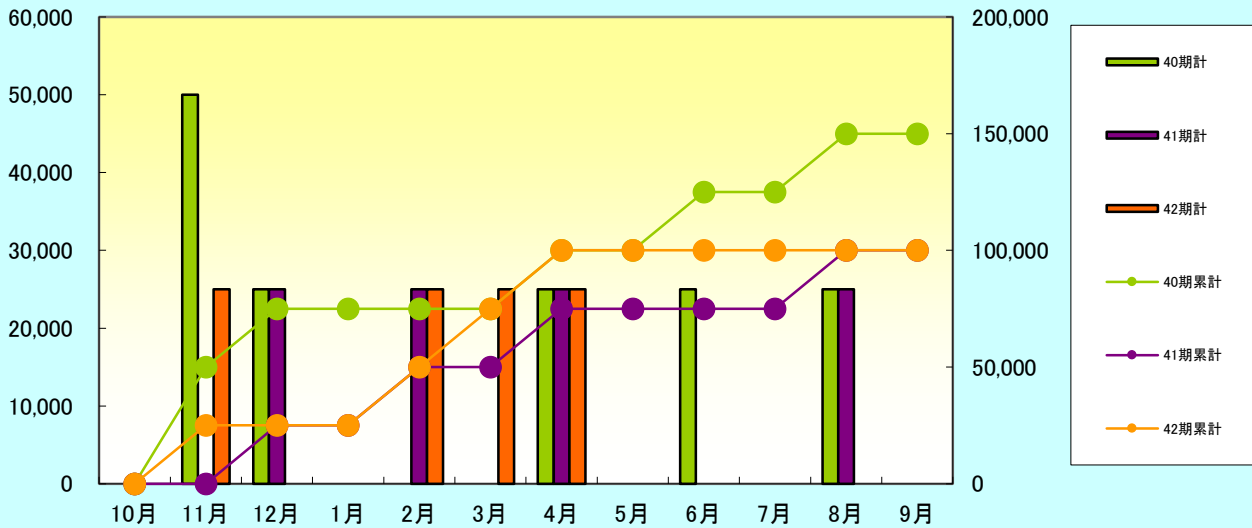
(円)



コピー用紙購入量(SSD/本社)

月次/棒グラフ(枚)

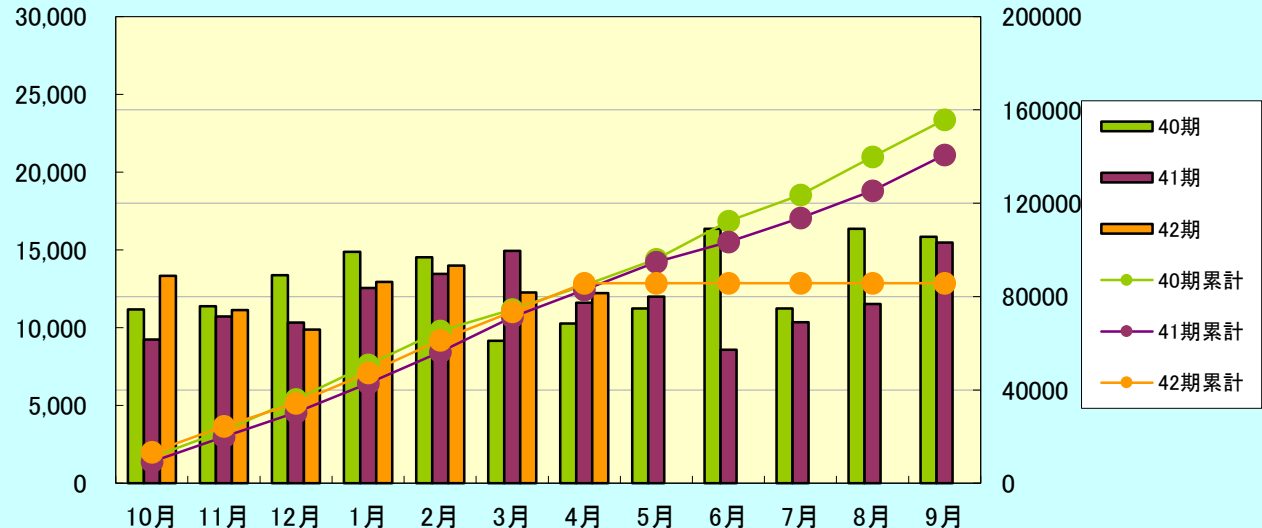
累計/折れ線(枚)



電力使用量(SSD/本社)

月次/棒グラフ(kwh)

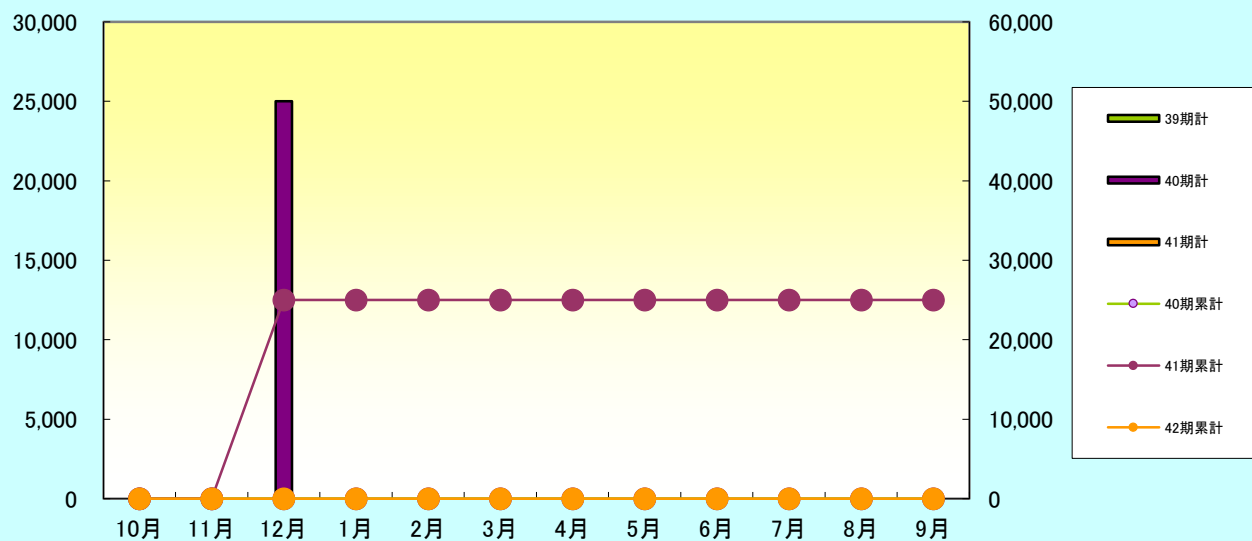
累計/棒折れ線(kwh)



コピー用紙購入量(SSD/関西営業所)

月次/棒グラフ(枚)

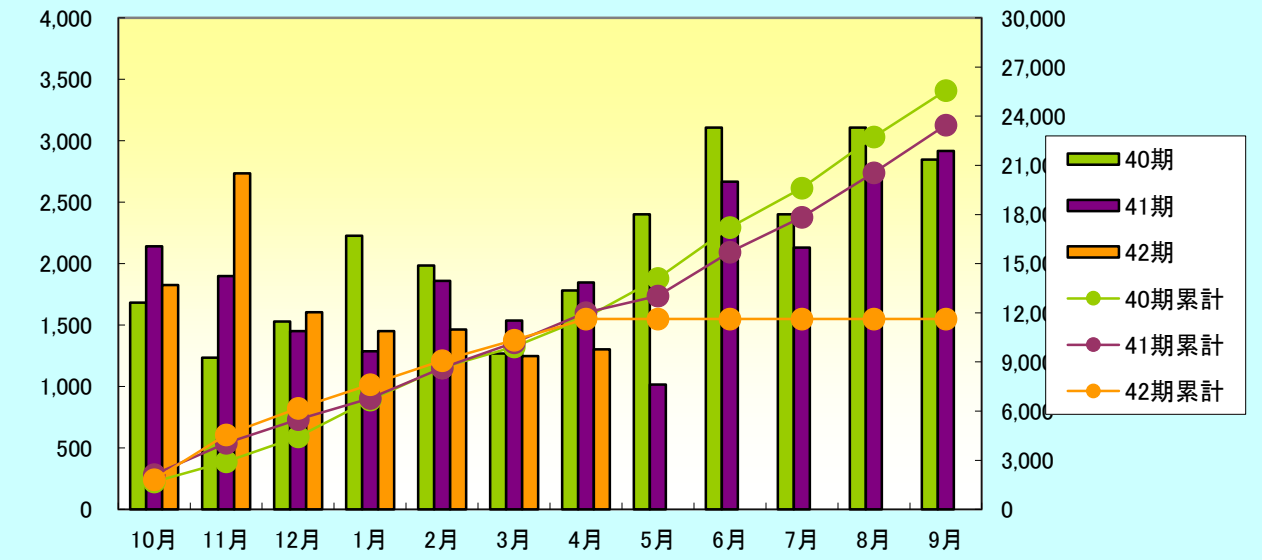
累計/折れ線(枚)



電力使用量(SSD/関西営業所)

月次/棒グラフ(kwh)

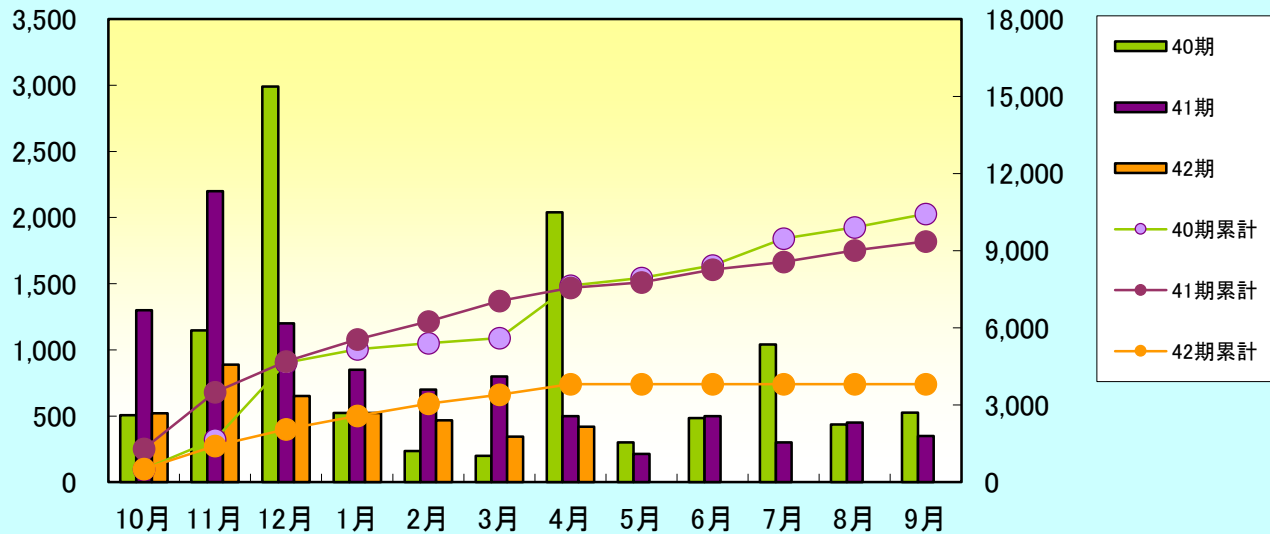
累計/折れ線(kwh)



ペットボトルのキャップ

月次/棒グラフ(個)

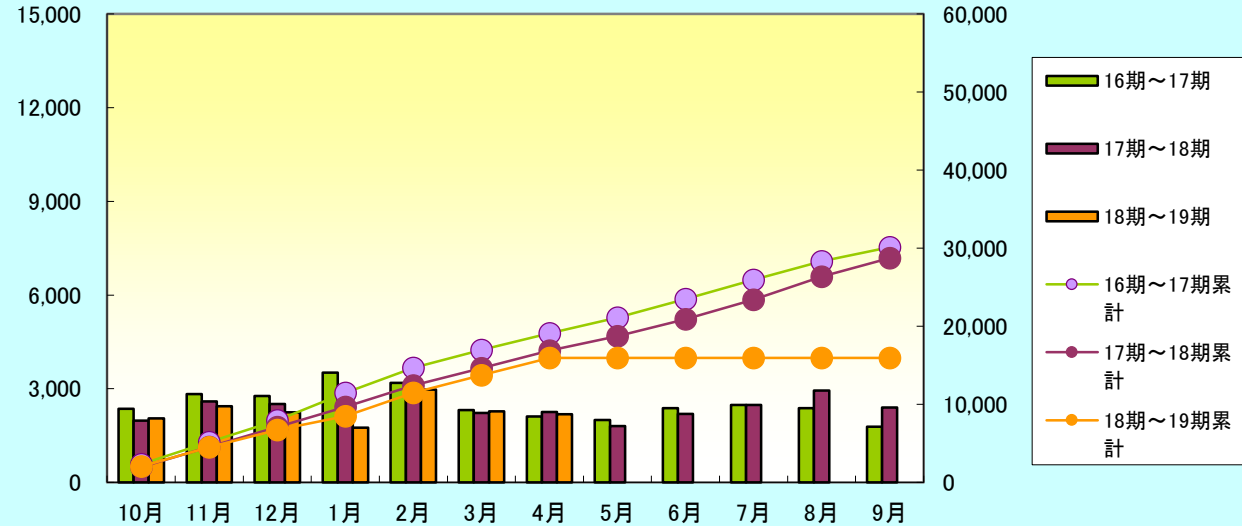
累計/折れ線(個)



電力使用量(SKW/朝日工場)

月次/棒グラフ(kwh)

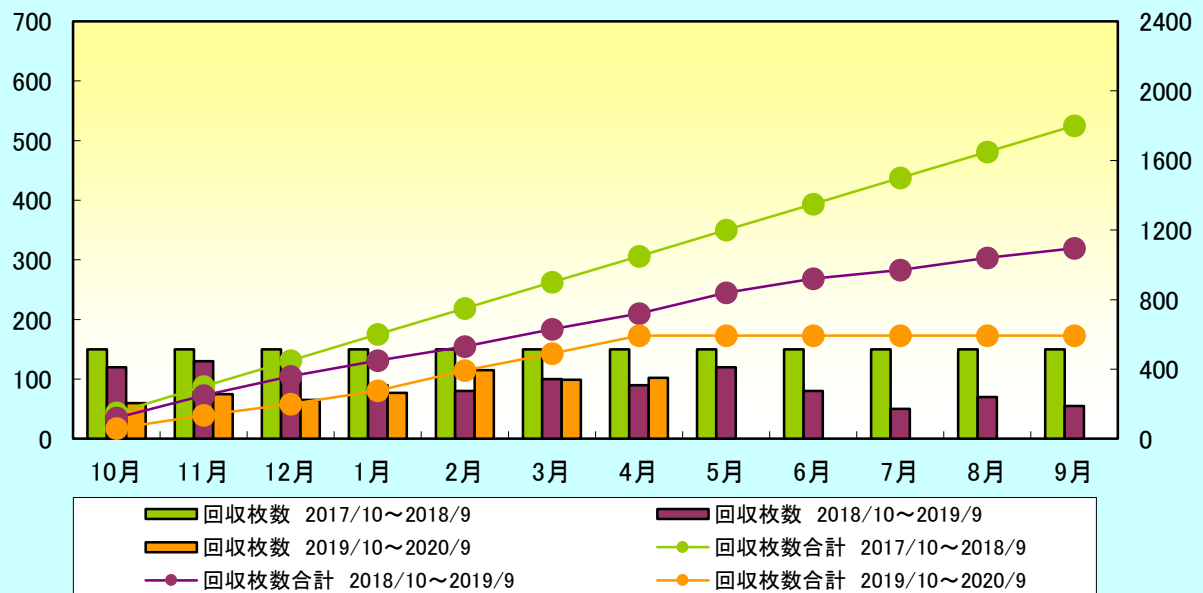
累計/折れ線(kwh)



使用済み切手回収

月次/棒グラフ(枚)

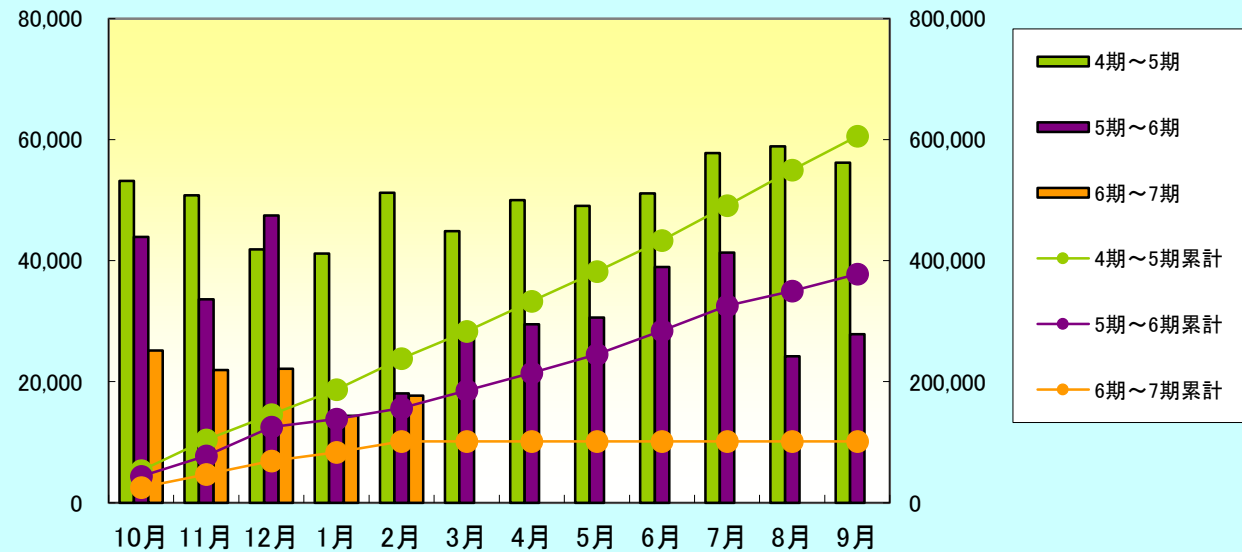
累計/折れ線(枚)



電力使用量(SKW/CSI工場)

月次/折れ線(kwh)

累計/折れ線(kwh)



ESG Report (地域貢献とワーク・ライフ・バランス)

今月のTOPICS

● 『SANSHIN大学～マネジャー養成講座～』が開講されました

2020年5月15日、サンシングループ代表・石井宏宗氏を講師に、ビジネス実務セミナー「マネジャー養成講座～社長が教える経営学～」が開講されました。同講座では、課題に基づき、参加者がレポートを発表した後、講師と参加者とのディスカッション形式で行われ、一体感のある講座となりました。

また、同年5月22日、東北学院大学 経営学部 教授 松岡孝介先生を講師にお招きし、ビジネス実務セミナー「サンシン電気 2016-2018年度プロセスデータ及びCLV分析」が開講されました。同講座では、松岡教授のご講義の後、参加者から積極的に質問が為され、大変活気溢れる講座となりました。

いずれの講座もマネジャー及び次期マネジャー候補が、国内外からWEB会議システムにて参加しました。



活動報告

- ①地域貢献活動
- ②ワーク・ライフ・バランスへの取り組み
- ③人財育成への取り組み

地域貢献活動

- 地域雇用の促進
- 地域清掃の実施（4月参加人数：延べ7名）
- ハンディキャップのある方々の自立を目指すお弁当宅配センターから会議用お弁当を購入
- インターンシップ実習生の受け入れ（日本、中国、マレーシア）
- 近隣の小中学校へ新聞を寄贈
- 企業メセナとして日本のワインや日本酒を購入（ミタスライフ）
- 動物介在ボランティア活動実施（ミタスライフ）
- 季節の飾り物をエントランスにディスプレイ：端午の節句飾り

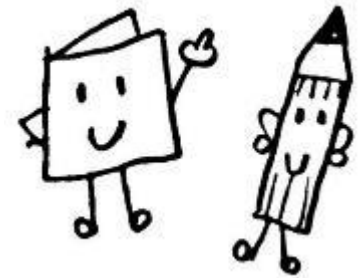


ワーク・ライフ・バランスへの取り組み

- 育児休業中も休業前のほぼ半額の給与支給。行政と併せてほぼ全額受給可能（累計実績5名）
- 育児短時間勤務中も、通常と同額の給与支給（累計実績5名）
- こども手当の支給（中学生未満）
- ご家族の急な病気やご家庭の事情、社会情勢に合わせて、在宅勤務又はテレワークが可能
- リフレッシュ勤務制度（勤務間インターバル制度）の導入
- 時間単位の有給休暇取得制度の導入
- 年2回実施の人事考課にて、ご両親または20歳以下の子供を扶養している社員への加点実施
- 永年勤続者への特別休暇の付与及び記念品を贈呈
- 毎年1回、全社員対象に健康診断を会社負担で実施
- 毎年インフルエンザワクチンの予防接種費用を会社が補助
- 毎月「健康筋力養成コース」開講（6～10名／回参加）
- 東京都の「感染症対応力向上PJT」に参加し、コースⅠ（感染症理解のための従業者研修）達成（2016年1月）、コースⅡ（感染症BCPの策定）達成（2017年12月）
- 全国健康保険協会東京支部より「健康優良企業・銀の認定証」取得（2019年5月更新）⇒3年連続！
- 経済産業省・日本健康会議より「健康経営優良法人2019（中小規模法人部門）」の認定取得（2019年2月）⇒3年連続！
- 東京都より「令和元年度スポーツ推進企業」、スポーツ庁より「令和元年度スポーツエールカンパニー」の認定3年連続取得（2017年～2019年）

人財育成への取り組み

- ▶ 社内にサンシン大学（SSU）を設置。経営・法務・税務・新製品紹介・ビジネス英会話・健康促進法・eラーニング等の講義を開講（World-wideでSkype配信実施。就業時間内に開講。会社が費用負担）
- ▶ サンシン大学への出席実績は、年2回の人事考課で加点対象
- ▶ 自己啓発支援制度により、MBA取得や資格取得を積極的に支援（毎年3～4名利用）
- ▶ 簿記、ビジネス実務法務検定、TOEIC・英検の取得により職能給UP
- ▶ 他社での技術研修、経理実務研修等を実施
- ▶ 年に1度、好業績を残した社員に対して社員表彰を実施
- ▶ “情報共有システム（Intelligence Shared Systems）”の活用により、日々PDCAP’を全社で共有し、TOP MANAGEMENTとの直接のコミュニケーションが可能
- ▶ 一般社団法人ICTマネジメント研究会による「学生懸賞論文」の実施（毎年開催）



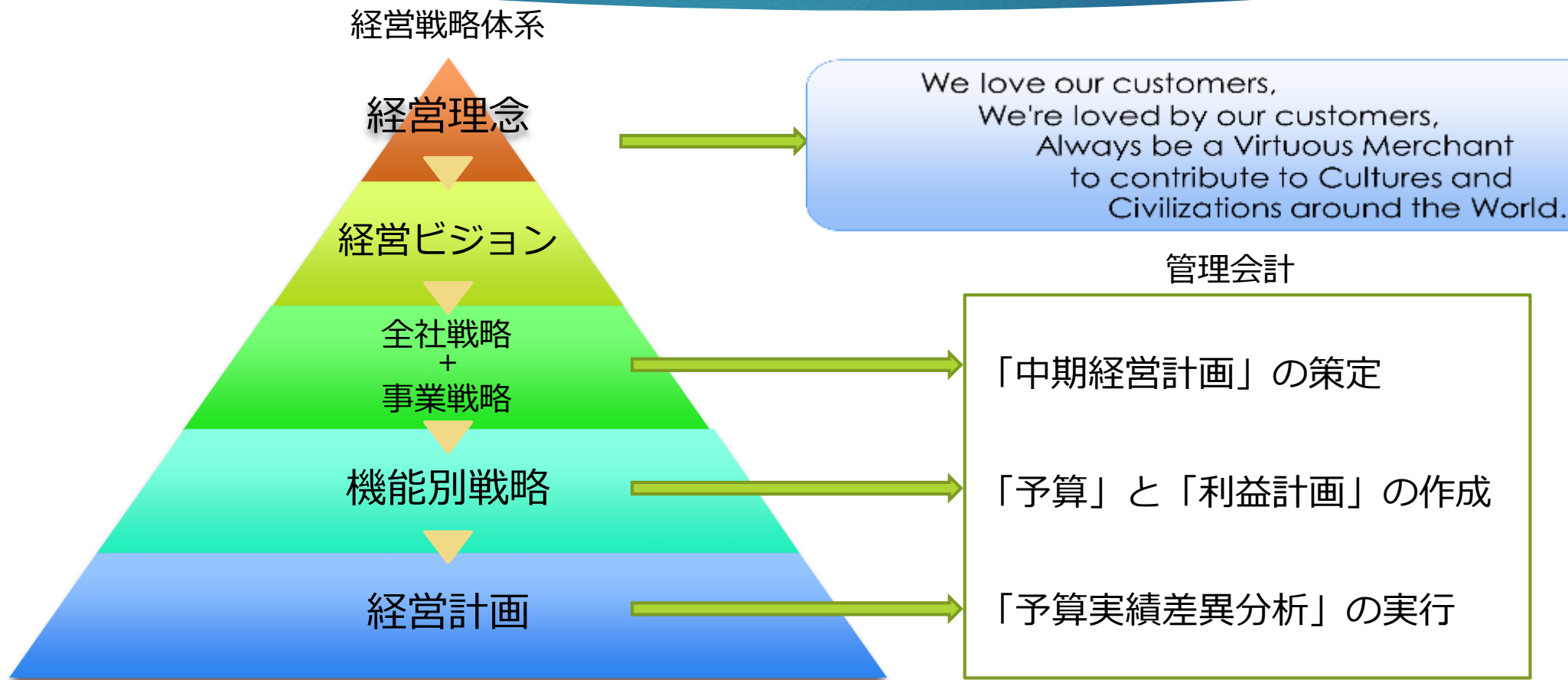
サンシングループの経営理念とCSR

We love our customers,
We're loved by our customers,
Always be a Virtuous Merchant
to contribute to Cultures and
Civilizations around the World.

サンシングループのCSRは、経営理念を全役員・全従業員が共有し、100%のコンプライアンスを大前提として、企業活動の中で経営理念を実践していくことです。

コンプライアンスの基礎となる品質マネジメント・マニュアル及び環境マネジメント・マニュアルを策定・導入し、サステナブルな企業として永続的に電機業界及び社会の発展に貢献して参ります。また、ステイクホルダーとの信頼関係の構築を通して、社会の公器として企業の社会的責任（CSR）を果たして参ります。

経営戦略体系と管理会計のかかわり



サンシングループの社会的責任

サンシングループは、企業はステイクホルダーをはじめとする社会全体と共存して繁栄し、社会的責務を伴う存在であると考え、以下の取組みを実施しています。

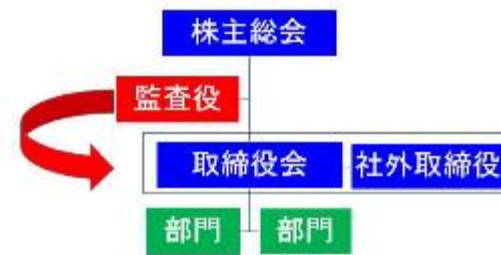
■ コーポレートガバナンス

経営者がコンプライアンスに準じた行動をしているか、コーポレートガバナンスにより、内部の業務監査を行っています。

■ CSR及び環境経営（ESG）

サンシングループではCSRに環境経営、品質保証、危機管理などの要素を含め、ホームページで活動内容を発信しています。特に環境経営はISOなどの環境マネジメントシステム（EMS）と連携した活動を実施しています。

コーポレートガバナンスと機関の役割



CSRの基本的要素



CSRの新たな要素



サンシングループの企業行動基準

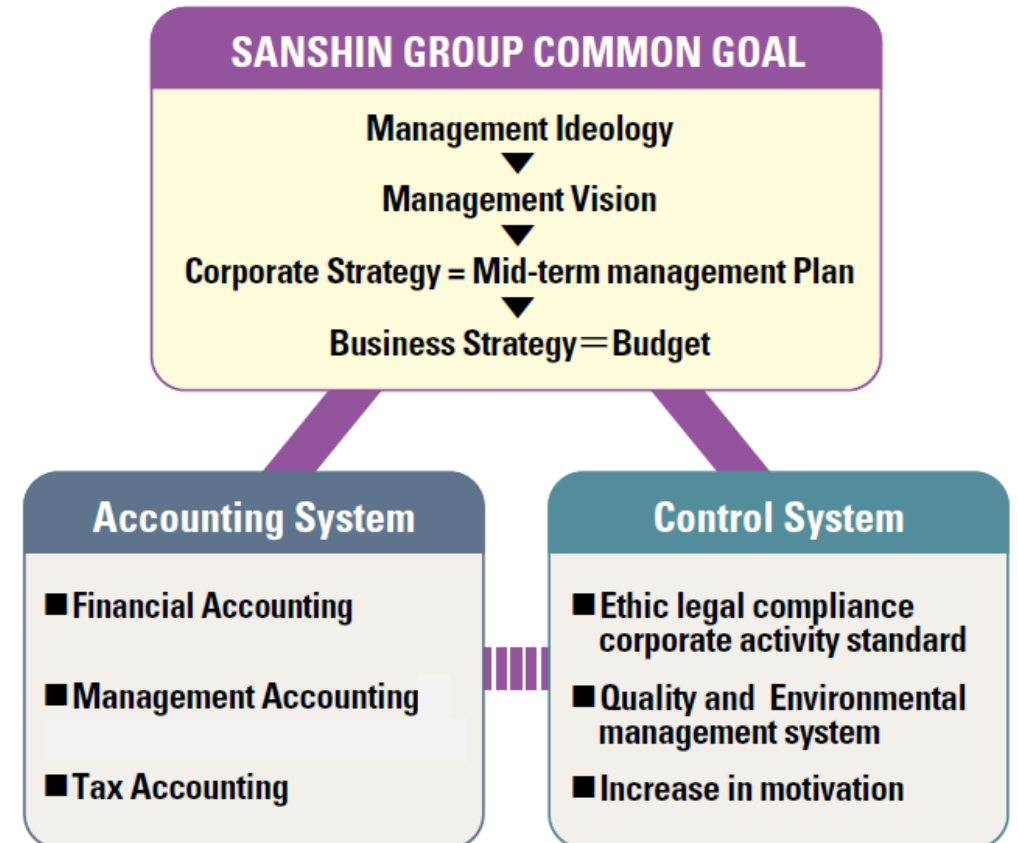
サンシングループの倫理法令遵守企業行動基準は、「経営理念」を実践するために、企業倫理とコンプライアンスの観点から、基本的な姿勢を以下の通り定めています。

1. 私たちは、常に社会人としての自覚を持ち、高い倫理観に基づき、社会的良識に従って行動します。
2. 私たちは、あらゆる企業活動の場面において、関係法令および社内規定はもとより、利害関係者と取り交わした契約や約束を常に遵守し、全ての企業活動が正常な商慣習と企業倫理に適合したものになるよう努めます。
3. 私たちは、あらゆる企業活動の場面において、全ての人の基本的人権と個性を尊重し、オープンなコミュニケーションに努めます。
4. 私たちは、全ての利害関係者に対し、誠実に接するとともに、公平・公正かつ透明な関係を維持し、フェアな取引を行います。
5. 私たちは、会社の正当な利益に反する行為や会社の信用・名誉を損ねる行為を一切行いません。

サンシングループのマネジメント・コントロール・システムズ

サンシングループは、経営戦略達成のため、「アカウントティング・システム（財務的：定量的管理）」と「コントロール・システム（非財務的：定性的管理）」という2つのシステムから成るマネジメント・コントロール・システムズを導入しています。

このマネジメント・コントロール・システムズの「コントロール・システム」の基軸となるものとして、当グループ独自の品質マネジメント・マニュアルがあります。この品質マネジメント・マニュアルに基づき、ISO9000シリーズに準拠した品質方針、および環境マネジメント・マニュアルに基づき、ISO14001やエコステージなどの環境方針を策定しています。これらの方針に従い、コンプライアンス・品質・環境・地域貢献・人財育成等のCSR活動に努めています。



サンシングループのマネジメント・コントロール・システムズ

サンシングループでは、形式知化された業務をルール化し、業務フローと業務マニュアルを策定しています。

■ マネジメント・システム

マネジメント・システムにより業務を標準化し、企業活動に安定した品質をもたらしています。

■ 5W2HとPDCA→P' サイクル

PDCA→P' サイクルは計画策定のPlan、計画を実行するDo、計画と実行の差異を評価するCheck、評価から修正と改善を行い次のPlan(P')につなげるActionから構成されます。サンシングループでは情報共有システムなどを活用して、5W2Hを明示し、プロセスの進捗を可視化/共有しています。

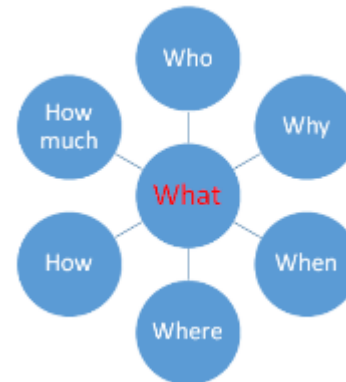
マネジメントシステムの基本構成



マネジメントシステムのレビュー



ビジネスの5W2H



PDCA→P' サイクルの概念



未来形から問題を解決するソウレンホウ

サンシングループでは悪い問題は過去形になる前に潰すことが重要と考え、一般的に言われるハウレンソウ（報告・連絡・相談）ではなく、ソウレンホウ（相談・連絡・報告）を励行しています。ソウレンホウにより、過去形（報告）ではなく未来形（相談）と現在形（連絡）の情報を共有し、予測される問題に対して事前に対応することが出来ます。



出所：石井 宏宗『経営とは生きること -企業家に求められる3つの視点-』税務経理協会、2011年



編集
後記

SSD, 品質管理課 H.O.

新型コロナウイルス対策の緊急事態宣言が、全都道府県で解除されました。新たに感染者数は減少しましたが、再び感染が拡大する可能性があります。感染拡大を予防する為にも今までの予防方法を継続し日常生活の中に取り入れ、感染予防に努めましょう。